

② 国際理解、気候変動、食育に係わる教育

奈良市内のNPOの支援を受けて、環境変化やそれに伴う生物のかかわり、暮らしの中での省エネルギーなどについて学んだ。地域にあるハウスイチゴの栽培農家と蜂蜜製造所の見学を通して、生物のつながりについて学んだ。低学年は、食べることが命とつながっているということ、中学年は、栄養素と食べることについて学習を行った。稲作体験で収穫した米や校内の農園で収穫した野菜を使って、地域の方や保護者を招いて収穫祭として感謝を表すイベントを実施した。奈良の伝統的食文化の吉野本葛を使った調理体験を実施した。外国人の方を教室に招いて1日の生活をともにしながら、互いの生活や文化について伝え合い活動を通して理解を深めた。在日外国人の方を招いて、日本で暮らす中での思いを聞かせていただいた。TOYOTA自動車とタイアップし、環境にやさしい自動車やその生産の工夫について考えた。

③ 世界遺産に係わる学習

古都奈良の文化財を実際に見学し、その素晴らしさとともに守り、伝えてきた人の営みについても考えた。外国人の方へのインタビューを通して、国外の視点から見た奈良の世界遺産についても学んだ。地域にたくさんある歴史的な遺産や地域の中で大切に守られているものやことについて、聞き取り学習や見学を通して学んだ。

④ 防災に係わる学習

全校で防災集会を開き、自分の命を守る方法や助ける側になって地域の役に立てるようにと防災についての学びを深めた。避難訓練も、実際の場面を想定して実施し、振り返りや家庭に持ち帰ることも意図して取り組んだ。



地域の方と田植え体験



ハウス栽培のイチゴ農家



東大寺の鐘 奈良太郎の下で



シェイクアウト訓練で実践

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

奈良市教育委員会製作教材冊子「奈良大好き世界遺産学習」 AUCC製作DVD「ミナの笑顔」 TOYOTA原体験教室 パンフレット 天極堂 吉野本葛 リーフレット
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

各学年の年間計画に位置付け意図的計画的に実施している。また、テーマによっては、教科としての学習にとどまらず、より実践的な学びにつながるよう教科横断的に総合的な学びとして取り組んでいる。地域やNPO、企業等と連携して取り組む学習や活動が多数ある為、連絡調整を大切にしながら、目的意識と育成したい資質・能力を確かにして実践に取り組んでいる。

ESDカレンダーとしてその取組を整理することはできていないが、教員研修としてSDGsを示し、活動ありきではなく、よりよい社会や未来の担い手としての児童の育成という観点を共有するように心がけた。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

学校長が中心となってリードする体制ではあるが、学習と未来や暮らしのつながりを大切にすよう、学校全体で取り組んでいる。学年の取組で終わらせず、報告や発表も全校で計画的に実施し、学校全体の学びになるよう取り組んでいる。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

学校の内部評価の中で、本年度の取組がESDやSDGsとつながっていることやそれがこれからの学びにおいて大切であることを共通理解した。外部評価としては、学校評議員会でも、学校の教育が学校の中だけで閉じるものではなく、社会や未来とつながっていることなど理解していただけた。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

学校体制として意識的に取り組めたとは言えない部分もあるが、校長がその取組を整理し、学校ホームページや学校だよりとして発行、地域への回覧等で発信してきた。取組や体験が目標ではないとの理解が少しずつではあるが広がってきていると感じる。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

様々なNPOや企業のワークショップを活用して、学習方法の工夫改善を行っている。人的にも物的にも大変豊かな歴史と自然と産業構造をもつ本校校区の特性を最大限生かして実践している。近畿ESDコンソーシアムに参加し情報入手や他校の取組にふれる機会を得ている。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

Webでは様々な情報を得させていただいているが、実際に交流したり、ネットワークを築いたりはできていない。近畿ESDコンソーシアムに積極的に参加し、ネットワーク形成のための情報収集の場としている。

⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

教科学習が知識や技能の習得にとどまらず、実際の生活や子どもたちの未来とのつながりを意識して実践するよう課題解決型の学習や教科横断的な学習になるよう取り組まれるようになってきている。保護者や児童にとっては、自分の暮らす町（地域）の良さや課題を考えるきっかけになっている。

(3) 平成30年度の活動計画

地域の特性を大切にした教科横断的な学習や様々なNPO、企業、地域人材との連携、地域を素材とした学習活動、体験活動の充実などを進めて行く。新学習指導要領でも取り上げられているESDの理念やSDGsをまず教職員が意識し、学びつつ実践と結び付けていきたい。また、近畿ESDコンソーシアムを情報収集や様々な学校や団体との連携のきっかけとできるよう、参加を続けていく。